

令和6年 4月2日(火) ~ 7月15日(月・祝)

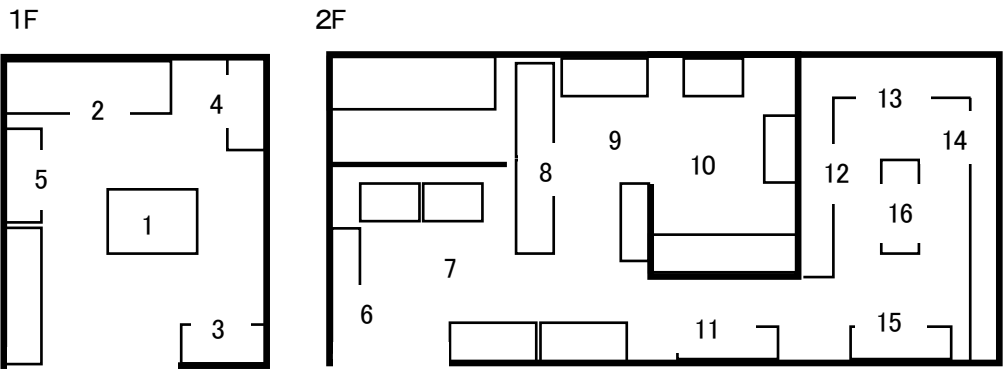
前期展示 令和6年 4月2日(火) ~ 5月26日(日)

後期展示 令和6年 5月28日(火) ~ 7月15日(月・祝)

敦煌写本とは、敦煌莫高窟にある蔵経洞(第17窟)から1900年に発見された写経や文書類をさします。発見以前の古代中国書道史は、拓本や模本などで編まれてきましたが、敦煌写本の登場で、隸書や楷書の変遷が肉筆によってつぶさに観察できるようになりました。本展では、敦煌を中心に、トルファンや鄯善(楼蘭)などから出土した貴重な写本を、中村不折コレクションから紹介します。

中村不折記念館

展示のご案内



- 1 石碑で見る南北朝時代の楷書
2 石碑で見る唐時代の楷書
3~5 敦煌写本で見る楷書の変遷
6 法帖で見る楷書
7 敦煌写本で見る楷書
8 敦煌写本で見る楷書
9 敦煌写本で見る楷書
10 敦煌写本で見る楷書美
11 法帖に収録された写本
12 蔵経洞密封前夜
13 シルクロードの衰退
14 写本の終焉
15 ポール・ベリオと中村不折
16 中村不折作品

施設の都合上、順路が複雑になっております。どうかご了承ください。

【 1F 第1展示フロアー 】

【 展示ケース 】

1 石碑で見る南北朝時代の楷書

瘞鶴銘
張猛龍碑

- 南朝 梁時代・天監13年(514)
北朝 北魏時代・正光3年(522)

【 大型展示ケース 】

2 石碑で見る唐時代の楷書

孔子廟堂碑—城武本—

九成宮醴泉銘
雁塔聖教序

- 虞世南(558~638)筆
原石:唐時代・貞觀2~4年(628~630)
城武本:宋時代・10~13世紀
歐陽詢(557~641)筆/唐時代・貞觀6年(632)
褚遂良(596~658)筆/唐時代・永徽4年(653)

【 展示ケース 】

3~5 敦煌写本で見る楷書の変遷

前 どうぎょうほんにやきょうかんだいろく だいしち
道行般若経卷第六・第七

西晋時代・永嘉2年(308)

前 ほつ く ひ ゆ きょうかんだいさんざんかん
【重要文化財】法句譬喩経卷第三残卷

前秦時代・甘露元年(359)

後 ぶつせつ ほ さつぞうきょうかんだいいちざんかん
【重要文化財】仏説菩薩蔵経卷第一残卷

北凉時代・承平15年(457)

後 さんごくし こ し だいにじゅうざんかん
【重要文化財】三国志呉志第二十残卷

北朝 北朝・5世紀

前 だいほつ ね ほんぎょうかんだい し じゅう
大般涅槃経卷第四十

北朝 北魏時代・正始2年(505)

後 りつぞうしよぶんかんだいじゅう し
律蔵初分卷第十四

北朝 北魏時代・普泰2年(532)

【 2F 第2展示フロアー 】

6 法帖で見る楷書 —王羲之・王献之—

どうほうさく が さん ぎよくこうかんしんじょう
東方朔画賛 (玉虹鑑真帖所収)

おうぎし
王羲之(303~361)筆/原跡:東晋時代・永和12年(356)

こうじょそう が ひ さん き どうじょう
孝女曹娥碑 (三希堂帖所収)

王羲之 筆/原跡:東晋時代・升平2年(358)

らくしん ふ じゅうさんぎょう かいせつどうじょう
洛神賦十三行 (快雪堂帖所収)

おうけんし
王献之(344~386) 筆/原跡:東晋時代・4世紀

7 敦煌写本で見る楷書 —北朝と南朝—

前 じ せいだいいち
持世第一

南朝 劉宋時代・元嘉26年/北凉時代・承平7年(449)

後 ぶつせつかん ふ げんきょう
仏説歡普賢経

南朝 齊時代・永明元年(483)

前 さんごくし こ し だいにじゅうにざんかん
【重要文化財】三国志呉志第十二残卷

北朝 北朝・5世紀

後 しゅんじゅう さ し でんざんかん
【重要文化財】春秋左氏伝残卷

北朝 北朝・5世紀頃

前 け ごんきょうかんだい にじゅうく
華嚴経卷第二十九

南朝 梁時代・普通4年(523)

後 ほうぼく し ないへんかんだいいちざんかん
【重要文化財】抱朴子内篇卷第一残卷

北朝 北周時代・6世紀

8 敦煌写本で見る楷書 —隋—

前 だいほうとうだいじつきょうかんだい にじゅう
大方等大集経卷第二十

隋時代・開皇15年(595)

前 だいほうこうぶつ け ごんきょうかんだい ご
大方広仏華嚴経卷第五

隋時代・開皇17年(597)

後 そう か だきょうかんだい に
僧伽吒経卷第二

隋時代・大業12年(616)

後 ま か えんぎょうかんだいはちじゅうしち
摩訶衍経卷第八十七

隋時代・6~7世紀

9 敦煌写本で見る楷書 —唐—

前 ぞうきょうもくろくざんかん
蔵経目錄残卷

唐時代・8世紀

後 だいほつ ね ほんぎょう し しょうほんだいしち
大般涅槃経四相品第七

唐時代・8世紀

後 ていげんちゅうほんろん ご ざんかん
【重要文化財】鄭玄注本論語残卷

唐時代・8世紀

前 とうひとにつか しゅうじ かん
唐人日課習字卷

唐時代・8世紀頃

【 2F 特別展示室 】

10 敦煌写本で見る楷書美の極致

あ び どん び ぼ しゃ かん だいろ く じゅう およ び じょ
後 阿毘曇毘婆沙卷第六十 及 序

唐時代・龍朔2年(662)

こん ぎょう はんに や は ら みつきょう
前 金剛般若波羅蜜經

唐時代・上元2年(675)

そくてん ぶ こう じ しゃきょうざん かん
前 則天武后時写經殘卷

唐時代・7世紀

たいじょうはち い れいさくざん かん
後 太上八威靈策殘卷

唐時代・7～8世紀

そう じ ち ほうくゆうへん だいに じゅう に
前 【重要文化財】 莊子知北遊篇第二十二

唐時代・8世紀頃

そう じ てんうんへん だいに じゅう し
後 【重要文化財】 莊子天運篇第十四

唐時代・8世紀頃

【 2F 中村不折記念室 手前 】

11 法帖に収録された写本

しんぎょう しゅうさんけんじょう
心經 (秀餐軒帖所収)

伝 欧陽詢 筆／唐時代・貞觀9年(635)

とうしょぞうきょうざん じ がくせつろうかんしんじょう
唐初蔵經殘字 (嶽雪樓鑑真帖所収)

原跡:唐時代・7～8世紀

とうひとしよぞうきょうざん じ いんせい かんじょう
唐人書蔵經殘字 (筠清館帖所収)

原跡:唐時代・7～8世紀

【 2F 中村不折記念室 】

12 蔵經洞密封前夜 —五代十国—

ぶっせつぶつみょうきょうかんだい に
前 仏説仏名經卷第二

五代十国時代(後梁)・貞明6年(920)

そうしん き
後 【重要文化財】 搜神記

唐末～五代十国時代・10世紀頃

13 シルクロードの衰退 —宋—

だいほうこうぶつ け ごんきょうかんだいろ く
前 大方広仏華嚴經卷第六

宋時代・10～13世紀頃

だいほうこうぶつ け ごんきょうかんだいろ く じゅう し
後 大方広仏華嚴經卷第六十四

宋時代・10～13世紀頃

14 写本の終焉 —印刷技術—

しんとうせつぎょくざつかん
後 晋唐屑玉雜卷

晋～宋時代・4～13世紀

そうはんじゅうじゅ に りつかんだい し じゅうろく かいほうぞう
前 【重要文化財】 宋版十誦尼律卷第四十六 (開宝藏)

北宋時代・開宝7年(974)

し げんつうこうほうしやう
後 至元通行宝鈔

元時代・至元24年(1287)

15 ポール・ペリオと中村不折

ほうめい ちやう
芳名帳

ポール・ペリオ(1878～1945)筆／昭和10年(1935)

なかむら ふ せつあてしよかん
中村不折宛書簡 (ペリオ来訪について)

とみ い まさあきら
富井政章(1858～1935)筆／昭和10年(1935)

中村不折宛書簡 (ペリオ来訪時の御礼)

富井政章 筆／昭和10年(1935)

16 中村不折作品

ちよはつかい さんぞうほうし にゆうじく じゅうに しじょう
猪八戒／三蔵法師入竺（十二支帖所収）

中村不折(1866～1943)筆／明治44年(1911)

りはく ふせつざつ が
李白（不折雜画所収）

中村不折 筆／大正9年(1920)

しゆんみんあかつきをおぼえず しゆんこうざつきよう
春眠不覚曉（春光雜興所収）

中村不折 筆／明治～昭和時代・20世紀

しんきようりやく ず
新疆略図

中村不折 筆／大正～昭和時代・20世紀

【 関連商品のごあんない 】

たいとう くりつしよどうはくぶつかん ずろく
台東区立書道博物館図録

2000円

しんちようしよ が しよそう
清朝書画コレクションの諸相

1200円

本 館（東京都指定史跡）

書道博物館本館(第1・3・4・5展示室)では、玉器・陶器・瓦当・石碑・墓誌・仏像・甲骨文・青銅器・璽印など、日本・中国書法史上特に重要な紙本以外の金石類に見られる文字資料を常設展示しています。

※このパンフレットの複写は固く禁じます。

台東区立書道博物館